

「第18回光物性研究会(2007)」のご案内(First)

開催日 : 2007年12月14日(金)、15日(土)
開催場所 : 大阪市立大学 学術情報総合センター
大阪市住吉区杉本 3-3-138
論文投稿締切日: 2007年11月9日(金)(pdf ファイル投稿)
参加登録締切日: 2007年11月9日(金)
(この後の参加登録も受け付けますが、参加費が上がります)

研究会の概要:

本研究会は、1990年より始まり、今年で18回目を迎えます。今年度の研究会では、「チュートリアル講義」と「特別講演」を招待講演として、一般発表は、特にテーマを設定せず以下の諸課題を中心に広く議論することを趣旨としております。これは、多岐にわたる光物性およびその関連分野の若い研究者、学生に発表と討論の機会を提供し、研究者間の交流、情報交換の場となることを研究会開催の主目的としているからです。そのために、十分に時間をかけて自由に討論できるポスター発表を研究会の中心に据えています。また、全てのポスター発表には、ショートプレゼンテーション(3分程度)が付随する予定です。全国の研究者、学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

課題: 励起子光学応答、超高速光学過程、非線形光学現象、低次元系の光物性、光誘起相転移、局在状態(緩和励起子)の光物性、ナノ構造物質による光機能制御、光エレクトロニクス材料への応用、新規物質の光物性、光化学反応、光合成・生体関連物質の光物性、材料・デバイスの光学評価、新分光法、その他。

チュートリアル講義: 大学院生、若手研究者を主対象に、光物性の中心テーマに関する解説的講演(90分)
特別講演: 光物性の先端的な研究に関する講演(60分)

光物性研究会奨励賞(今年度より制定): 将来の光物性研究をになう優秀な大学院生の研究・発表を奨励し、今後の研究の一層の発展を期待し表彰するために、今年度より本賞を設けます(受賞件数は発表総数の5%程度: 概ね4~5件)。本賞の受賞対象者は、事前にエントリーの必要があります(詳細はweb上で案内します)。

研究会の情報: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/camp/> から”光物性研究会”に入って下さい。

直接の URL (<http://pltop.shocomarec.kumamoto-u.ac.jp/HIKARI/index.html>):

全ての連絡(参加登録、プログラム、論文書式、参加費振り込み等の案内)はwebで行いますので、その旨をご注意下さい。

論文集: 論文集を発行し、参加者全員に一部を配布します。論文は各発表4頁です。また、論文はwebにおいてpublic domainに公開します。投稿の際に公開の可否を合わせてご連絡下さい。

論文投稿締切日: 11月9日(金): pdf 投稿

参加費: 11月9日まで 教員、研究機関、企業関係者 5,000 円、学生 3000 円

11月10日以降 教員、研究機関、企業関係者 6,000 円、学生 4000 円

懇親会費: 教員、研究機関、企業関係者 3,000 円、学生 無料

参加費と懇親会費の振り込みについては、webに記載している郵便振込口座をお願いします。

研究会問い合わせ先: 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

(組織委員長) 大阪市立大学大学院工学研究科電子情報系専攻(応用物理学講座)中山 正昭

(e-mail) nakayama@aphys.eng.osaka-cu.ac.jp, (tel & fax) 06-6605-2739

組織委員: 石原照也(東北大・院理)、枝松圭一(東北大・通研)、末元徹(東大・物性研)、嶽山正二郎(東大・物性研)、武田淳(横浜国大・工)、田中耕一郎(京大・院理)、金光義彦(京大・化研)、伊藤正(阪大・院基礎工)、小川哲生(阪大・院理)、萱沼洋輔(阪府大・院工)、石原一(阪府大・院工)、内藤裕義(阪府大・院工)、中山正昭(組織委員長: 阪市大・院工)、唐沢力(阪市大・院理)、喜多隆(神大・工)、高木芳弘(兵庫県大・理) 赤井一郎(熊大・衝撃セ)、

実行委員: 中山正昭(委員長: 阪市大・院工)、赤井一郎(熊大・衝撃セ)、金大貴(阪市大・院工)